

## 2019 年度

授業科目名	ヒロシマのこころ			科目コード	E1002
担当者	古澤 敏昭 / 佛圓 弘修			履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回
授業の概要・到達目標				単位数	2
(概要)					
平和とは何か、現在の国際社会において平和の大切さ、難しさを学び、一人ひとりが何をしなければならないかを考え、平和な心と豊かな人間性の大切さを学修する。真の恒久平和は、武力ではなく平和的手段によって、日常生活での地道な実践の積み重ねから実現できるもの。暴力文化を克服しながら「平和をつくる」ことの意義と具体的方法論について核被爆の実相と「ヒロシマのこころ」に照らしながら考察する。					
(到達目標)					
① 「原爆被災の実相」(物理・医学・人道的)の正確な理解					
② 「ヒロシマのこころ」(被爆者の心情・核廃絶への決意)の継承と実践					
③ 「平和を創る」という意識の向上と日常生活での実践、並びに「建学の精神」の体現					
履修における注意事項(受講ルールなど)					
授業の妨げになるので私語は禁止。配布のレジメと資料を中心に講義を進める。					
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。					
回数	講義内容				担当者
1	オリエンテーション (授業の概要や授業計画、評価方法等の説明)			9/24	佛圓 弘修
2	「建学の精神」の体現①			10/4	古澤 敏昭
3	「建学の精神」の体現②			10/18	古澤 敏昭
4	広島県・市における平和教育(小学校実践・「へいわノート」の活用)			10/29	佛圓 弘修
5	見学の観点・解説と計画立案			11/5	佛圓 弘修
6	フィールドワーク①(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)			11/9	佛圓 弘修
7	フィールドワーク②(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)			11/9	佛圓 弘修
8	フィールドワーク③(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)			11/9	佛圓 弘修
9	フィールドワーク④(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)			11/9	佛圓 弘修
10	学外学習の総括(ワークシート整理・プレゼンテーション発表・総合討論)			11/12	佛圓 弘修
11	ヒロシマの文学とその周辺			11/19	佛圓 弘修
12	「原爆被災の実相」「核兵器と原爆を巡る今日の状況」の理解			11/26	佛圓 弘修
13	「平和を創る」行動化(暴力文化の克服・「ヒロシマ」から「ひろしま」へ)			12/3	佛圓 弘修
14	「平和を創る」行動化(平和学習の学習指導案をつくる)			12/10	佛圓 弘修
15	これからの平和教育実践に求められる資質・能力(まとめ)			12/17	佛圓 弘修
成績評価方法					
授業内で記入するコメントシート 60%、討論や観察の内容と主体的なかかわり 40% (遅刻・欠席・参加態度を含む) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。					
教科書					
書名		著者	出版社	ISBNコード	
参考書					
書名		著者	出版社	ISBNコード	
広島市平和教育プログラム/へいわノート		広島市教育委員会	株式会社中本本店	広 X3-2012	
広島県教育資料		広島県教育委員会			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)					
授業での課題等とはもとより、平和問題について日常生活でも疑問を感じたら、そのままにはせず、どのように考えるべきかを探求していきましょう。そのうえで、他者と議論をすることで自分の考えをさらに深めましょう。					
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。					
直接研究室を訪ねるか、担当教員もしくは事務を通してメール等で連絡してください。					